

学習指導要領対応と、新しい学力評価方式で、
さらにパワーアップ↑

令和
6年度

標準学力調査



標準学力調査の特長

目標標準方式について

段階評価方式について

個人票

英語特集

質問紙調査

マイアセス

調査問題の
ラインナップと概要

顧問	荒井 克弘	東北大学 名誉教授 大学入試センター 名誉教授
調査分析設計協力	荘島 宏二郎	大学入試センター 教授
調査編集協力		
国語	樺山 敏郎	大妻女子大学 教授
社会	中田 正弘	白百合女子大学 教授
算数・数学	清水 宏幸	山梨大学大学院 教授
理科	田代 直幸	常葉大学 教授
英語	山田 誠志	大垣市教育総合研究所 所長

目次

• 標準学力調査の特長	p.2
• 目標標準方式と結果資料	p.8
• 段階評価方式と結果資料	p.12
• 個人票	p.16
• 英語特集	p.18
• 質問紙調査 (i-checkなど)	p.22
• マイアセス	p.26

調査問題と評価方式の種類

標準学力調査は、経年比較を重視した「部分改訂版」と、毎年問題が変わる「全面改訂版」の2種類の調査問題を発行しています。

また、小問ごとに設定した出題のねらいや目標値（期待正答率）に達しているかどうかを確認する、「目標準拠評価方式」という方式に加え、「段階評価方式」という新たな方式が加わり、2種類の評価方式から結果帳票を選べるようになりました。

2種類の調査問題から選べる!

全面改訂版

100%

調査問題を毎年全面改訂します。

問題の
改訂率

実際の問題は
P.4へ!

部分改訂版

一部改訂

調査問題を必要に応じて改訂します。

標準スコアで比較

標準スコアを基準とした、経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。

経年比較

同一問題を正答率で比較

標準スコアを基準とした資料のほかに、前年度と同一問題での正答率を基準とした経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。誤差のない厳密な経年比較が可能です。

全国値決定後

1学期版：6月初旬以降順次返却
3学期版：1月中旬以降順次返却

結果資料の
返却

採点終了後

1学期版：5月中旬以降順次返却
3学期版：1月初旬以降順次返却

回収しない

問題用紙は回収いたしません。つまずいた問題の振り返りに使用できます。

問題用紙の
回収

回収する

調査の性格上、問題用紙は結果資料到着後にすべて回収します。

※1学期版小学校2年生と3学期版小学校1年生は除く。
※調査の公平性を保つため、児童生徒への問題冊子の返却は、調査時期に関わらず、1学期版は6月末まで、3学期版は3月10日までお待ちください。それまでは、校内での使用・保管をお願いいたします。

結果資料がデータで確認でき、実際の児童生徒の解答と問題が確認できる
マイアセスもごさいます。詳しくは [P.26](#)へ!

2種類の評価方式から選べる!

目標値評価方式

評価は、「目標値」を基準として行います。目標値は、解答形式や出題形式をもとに初期設定し、プレテストの結果を加味して調査編集協力委員と協議のうえ、統計処理して決定します。

詳しくは [P.8](#) へ→

段階評価方式

評価は、「ステップ」と呼ばれる、学力を5段階に順序づけて分類する段階評価を基準として行います。「ステップ」は、「潜在ランク理論 (LRT: Latent Rank Theory)」を用いて結果を分析し、調査分析設計協力委員と協議のうえ、検証を重ねて決定します。

詳しくは [P.12](#) へ→

目標値を基準に、小学校3段階、中学校5段階で設定

総合評定

4カテゴリーのステップを5段階で表し、その結果から総合ステップを5段階で設定

目標値を表示

小問の レベル表示

5段階の難易度を表示

小学校3段階、中学校5段階の総合評定の人数割合を表示

学力階層の 割合

5段階の総合ステップの人数割合を表示

平均正答率を表示

小問正答率

平均正答率に加え、ステップ別の正答率を表示

目標値-5ポイントを基準に、その値以上の人数割合を達成率として設定

達成率

ステップ3~5までの人数割合を達成率として設定

目標値と正答率を比較して表示

個人票

4カテゴリーのステップと総合ステップを表示

個人票について、詳しくは [P.16](#) へ!

学習指導要領に対応

学習指導要領の改訂のポイントを踏まえ、評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を適切に測る問題設計です。

多様な表現力を測る

豊富な記述式問題で子供たちの多様な考え方を評価します。

課題解決学習を意識


日常生活や普段の授業等の場面を設定し、見方・考え方を働かせて取り組む課題解決の流れに沿った問題を出題します。

小学校算数


意見交流や議論など対話的な場면을積極的に取り上げています。

19 先生は、次のような問題を出しました。

町の図書館にある本の数は、百の位の数字を四捨五入してが数になると、20000さつになります。町の図書館にある本の数のはんいを求めましょう。




てつやさんは、百の位の数字を四捨五入して20000になる数のはんいについて次のように説明しました。



ともみさんは、てつやさんの説明について、次のように考えました。

てつやさんの考えは、正しくありません。本の数は、一の位まで考えられます。例えば、**ア**は20400より大きいけれど、百の位の数字を四捨五入すると、20000になります。図に表すと、



だから、正しい答えは、19500さつ以上20500さつ**イ**です。

(1) ともみさんの考えの、**ア**にあてはまる数を次の1~4から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、**イ**にあてはまる言葉を、あとの□から選んで書きましょう。

1 20450	2 20500
3 20510	4 20600

以下 未満

(2) 先生は、続けて次のような問題を出しました。先生が出した問題について、みんなで考えています。

町の図書館にある児童書の数は、9465さつです。児童書の数を四捨五入すると、およそ何さつになりますか。

わたしの答えは、9000さつです。

わたしの答えは、9500さつになりました。

2人とも正しく四捨五入しているけれど、ちがう答えになったのはどうしてでしょうか。

てつやさんともみさんも正しく四捨五入したのですが、ちがう答えになりました。ちがう答えになったのはなぜですか。そのわけを説明しましょう。

ストーリーの中で、基本的な知識・技能の定着を測ることができる問題です。

対話的な学習の過程から疑問を見いだし、その理由について記述する問題です。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

小学校理科

小学校社会

12 たいちさんとあゆみさんは、丹波の地いすの水不足をふせくために取り組むについてそれぞれ調べました。あとの問題に答えましょう。

【空気が水を取り出すかんばん(図1)】
(土地いす) ペルー共和国の首都リマ。
(水不足のようす) 雨のふる量が少なく、水不足になやまされています。

【とり組み】
かんばんの中に空気をとりこんで、きれいにした空気から水を取り出すことができます。水は、このそうちの中にためられて、図2のように、じや口をひねると、きれいな水が出てくる。

【日本ばね(図3)】
(土地いす) アメリカ合衆国のカリフォルニア州
(水不足のようす) 雨がふらないなどの理由で、長期間の水不足が続いている。

【とり組み】
水をとためておく「貯水池」の水を守るために、プラスチックできた日本ばねを図4のように、水にたくもようかべる。そうすることで、太陽の光が水に透けつたものをふせくことができます。きれいな水が出てくる。

(1) 図1は、「空気が水を取り出すかんばん」のしくみを表したものです。これについて、たいちさんはあのように話しています。

図5

① 空気を取りこむ。 ② 空気をきれいにする。 ③ 空気を水に変える。 ④ 水をきれいにする。

⑤ 水をためておく。 ⑥ 水じや口から水が出てくる。

きれいにした空気を(ア)することで、空気中の水じょう気を取り出しているんだね。これは、ふるの量がくるのと同じ現象だね。

たいちさん

① 図5の①、②、③のときの水のすがたは、それぞれ「気体」、「液体」、「気体」のうちどれですか。

② たいちさんの話の(ア)は、図5の②で、空気が水を取り出す方法になります。あではまる言葉を書きましょう。

(2) あゆみさんは、「日本ばね」について、次のように話しています。

貯水池の水に、太陽の光が透けつたらないようにしているから、大切な水がへりにくくなるんだね。

あゆみさん

日本ばね(ア)の水をうけて、太陽の光が当たらないようにすることで、水がへりにくくなるのは、なぜですか。かんたんに書きましょう。

自然の事物・現象に身につけた知識を適用し、思考・表現する問題です。

統計資料を読み取り、正確に説明するという授業での班別活動の場面を想定した問題です。

日本の食料生産の特色に関する知識と、日本地図をもとにした資料を読み取る技能を測る問題です。

6 あやなさんたちは、日本の食料生産について調べました。次の問題に答えましょう。

(1) あやなさんたちはそれぞれ、日本の主な農産物の生産地について説明しています。

1 あやな レタスは、それぞれの産地の特色を生かしてつくられています。夏はすずしい長野県などで、春と秋は大消費地に近い茨城県などで多く生産されています。

2 ひろと みかんは気候のえいさようを受けやすい農産物です。主な産地は和歌山県、愛媛県、静岡県などで、あたたかい気候の地方にあります。

3 まひろ 牛肉の飼育には、えさになる牧草をつくる広い土地が必要です。牛肉の生産は、北海道や鹿児島県などでたくさんです。

4 まひろ 米は日本でつくられていますが、特に新潟県や北海道、秋田県や山形県などで生産がさかんでいます。

右の資料は、ある農産物の生産量が多い県を表したものです。この資料を使って説明している人を、上の1~4から1人選んで、その番号を書きましょう。

19 3学期実施版 小学校5年生

小学校国語

学習指導要領における「情報の扱い方に関する事項」に対応します。複数の資料を関連づけて整理し、伝えたいことを明確に記述する力を測ることができます。

情報を相手にわかりやすく伝えるための文章の工夫を考える問題です。

目的に応じて情報を収集し、考えたことや伝えたいことをまとめて書くという言語活動の場面を想定した問題です。

1 小山さんたちは、「パンフレットの案」を作ることに、どのよう工夫をして作っていますか。次から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 市のみかんを知ってもらうために、集めた資料をすべて使って、できるだけ詳しく説明している。

2 市のみかんを宣伝するため、みかんのよいところを具体的な数値を挙げてしようかいている。

3 市のみかんを食べてもらうために、みかんに関する役立つ情報を、複数の観点から示している。

4 市のみかんをよりよいものにするために、自分たちが考えたみかん作りする方法を書いている。

2 小山さんは、同じグループの原さんから出された意見をもとに、「パンフレットの案のみかん質問箱」を書き直すことにしました。次の「書き直す部分」を使って、一文で書きましょう。

みかん質問箱に、なぜA市でみかん作りがさかんなのかという質問と、それに対する答えを書き加えてはどうか。

原さん

【書き直す部分】

★みかん質問箱★

質問：みかんにはどんな栄養があるの？

答え：みかんの子房に役立つビタミンC、つかれをとる効果のあるクエン酸、腸の働きをよくする食物せんいなどがふくまれています。

質問：A市でみかん作りがさかんなのはなぜ？

答え：ア

6 小山さんたちは、グループ学習の時間に、自分たちの住むA市の特産物であるみかんをしようかいたことを作ることにしました。小山さんたちが集めた資料とパンフレットの案を読んで、あとの問題に答えましょう。

【資料】

A市のみかん
A市は、みかん作りがさかんなS県の中でも、いちばんのみかんの生産量をほこっています。みかん作りに向いているのは、日当たりがよくて雨が少なく、水はけのよい土地です。A市は、この条件に合っているのて、昔からみかん作りがさかんでした。

◆みかん畑の一年
春 肥料をまく。
夏 ぎざぎざの実などをとる。
秋 収穫する。
冬 あみをかけて、寒さを防ぐ。

みかんには体にいい栄養がいっぱい！
ビタミンC…かぜの予防に役立つクエン酸…つかれをとる食物せんい…腸の働きをよくする

おいしいみかんのポイント
・皮が、こいオレンジ色。
・皮がなめらかで、しまっている。
・「へた」が黄色で、切り口(直径)が小さい。

【パンフレットの案】

食べてね！
A市のみかん
A市は、みかん作りの歴史も深い、みかんの産地です。みかん作りで知られるS県の中でも、いちばんの生産量をほこっています。

一おいしいみかんの見分け方ー
「A」が黄白く、切り口(直径)が小さい。
皮がなめらかで、しまっている。オレンジ色の切り口がよい。

みかんには、体にいい栄養がたくさんふくまれています。A市のみかんを食べて、元気な毎日を送りましょう！

★みかん質問箱★
質問：みかんにはどんな栄養があるの？
答え：みかんの子房に役立つビタミンC、つかれをとる効果のあるクエン酸、腸の働きをよくする食物せんいなどがふくまれています。

20 答えは葉巻特記に書きましょう。 3学期実施版 小学校6年生 9

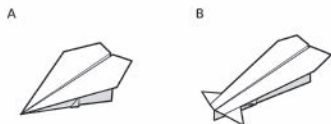
中学校 数学

中学校では、文化祭で「クラス対抗紙飛行機大会」が行われます。この大会は、次のようなルールで行われます。

クラス対抗紙飛行機大会のルール

- 紙飛行機の材料はA4サイズの紙を使用すること。
- 紙飛行機には、使用する紙以外のおもり等はつけないこと。
- 紙飛行機は体育館のステージから飛ばすこととし、飛ばす際には、ゴム等は使用しないこと。
- 各クラス1回だけ紙飛行機を飛ばし、その記録をそのクラスの記録とする。
- もっとも長い記録を出したクラスを優勝とする。

智樹さんと真由さんたちのクラスでは、どのような折り方の紙飛行機を使用するかを話し合いました。話し合いの結果、Aの折り方の紙飛行機とBの折り方の紙飛行機を、実際に何度か飛ばして、どちらの折り方の紙飛行機を使用するか決めることになりました。

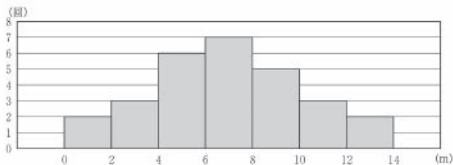


AとBでは、どちらの折り方のほうが、より長い記録を出せそうかな。

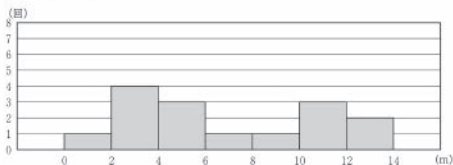


次の二つのヒストグラムは、AとBの紙飛行機をそれぞれ何回か飛ばしたときの、飛んだ記録をまとめたものです。例えば、Aの紙飛行機のヒストグラムから、Aの紙飛行機の2m以上4m未満の記録が3回あったことがわかります。

Aの紙飛行機の記録



Bの紙飛行機の記録



このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 智樹さんと真由さんは、上の二つのヒストグラムについて話し合っています。

智樹さん「大会では、A、Bのどちらの折り方の紙飛行機を選ばいかな。」
真由さん「AとBの紙飛行機のヒストグラムは、全体の度数が違っても、度数をそのまま比較していいのかな。」

AとBの紙飛行機のヒストグラムを比較して、そこからわかる特徴をもとに、クラスの紙飛行機の折り方を選ぶとすると、あなたならAとBのどちらの折り方を選びますか。A、Bのどちらか一方の折り方を選びなさい。また、その折り方を選んだ理由を、AとBの紙飛行機のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの折り方を選んで説明してもかまいません。

統計の問題では、単に知識・技能を問う問題だけではなく、生徒がデータの傾向を総合的に考察し、判断する問題も出題しています。

与えられた情報を適切に読み取り、生徒自らが判断した理由を数学的に表現する力を測る問題です。

中学校 理科

- 13 真理子さんは、ある日、窓ガラスの表面に小さな水滴がたくさんついているのがつきました。真理子さんは、窓ガラスに水滴が結露するしくみについて考え、あのような実験を行いました。あとの問いに答えなさい。



【課題】 どのようなときに、窓ガラスに水滴が結露するのだろうか。

【予想】 窓ガラスの外側と内側の温度のちがいで起きる。

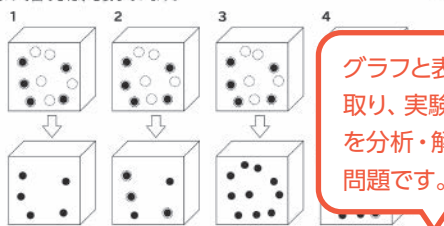
【実験】 右の図のような装置をつくってしばらく置き、フラスコの底のようすを調べた。

- (1) 真理子さんは、フラスコの中を部屋の外の空気、ピーカーの中の空気を部屋の中の空気で見立てて、実験を行いました。寒い冬の日、暖房で部屋をあたためたときの部屋の窓ガラスの表面を調べるための実験は、どのようにすると考えられますか。次の1~4から1つ選びなさい。



条件制御の知識・技能を活用し、実験を立案する力を測る問題です。

- (2) 窓ガラスに水滴が結露するようすを、粒のモデルを使って表すとどのようになりますか。次の1~4から1つ選びなさい。ただし、○は気体としてふくむことのできる水(水蒸気)、●は気体として空気中にふくまれている水(水蒸気)、●は結露によって出てきた水を表しています。



グラフと表を読み取り、実験の結果を分析・解釈する問題です。

- (3) 真理子さんは、結露しにくくする方法について調べたところ、部屋の窓を二重にするという方法を見つけました。真理子さんは、次の図のように、冬の寒い日に、窓の外側の空気温度、室内の空気温度、1枚目と2枚目のガラスの間の空気温度を、温度計ではかりました。そのときの結果を、表にまとめました。また、気温と1m³の空気にふくまれる水蒸気質量との関係を、次のグラフに表しました。



これらのことから、窓を二重にすると、結露しにくくすることができるのはなぜだと考えられますか。その理由を簡潔に書きなさい。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

中学校 国語

今日的な話題や日常生活に関連した話題を積極的に取り上げています。

【資料A】オリンピックの歴史からわかること

- ・オリンピックの根柢には、スポーツは人間の心身を成長させ、優れた人間の育成に役立つという考えがある。
- ・オリンピックの目的は、スポーツを人間の発展や、平和な社会の実現のために役立てることである。
- ・オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの考え方に賛成したすべての個人と団体によって行われる活動のことである。

【資料B】オリンピックの歴史

紀元前七六六年	神をまつための行事として、オリンピックが開催された。
一八九九年	パリで国際会議が開催され、ピエール・ド・クーベルタンが、オリンピックの復興を提議した。これは現代オリンピックの始まりと見られる。
一九一四年	第一次世界大戦の影響で、オリンピックが中断された。
一九四八年	第二次世界大戦の影響で、オリンピックが中断された。

【資料C】クーベルタンの名言

「オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである。」

→オリンピックに参加することで、人々が交流し、将来的な世界の平和につながる。

【資料D】日本とオリンピックの関わり

高橋治五郎が1909年に国際オリンピック委員会に就任

→日本がオリンピックに関わるきっかけ

高橋は、体育によって体だけでなく、心も成長させられるという考えを持って、それには年齢や性別、環境は関係なかった。また、このような考えは、よりよい社会の実現にも生かされると思っていた。

【資料E】「発案原稿の下書き」

私は、オリンピックについて調べました。

紀元前七六六年に初めてオリンピックが開催されました。これは三九三年まで続きました。

その後、一八九九年、ピエール・ド・クーベルタンがオリンピックの復興を呼びかけました。これ以降を「近代オリンピック」とよびます。そして、一八九六年にギリシャのアテネで第一回オリンピックが開催されました。また、一九二四年には、冬のオリンピックがフランスのシャモニーで初めて開催されました。

オリンピックの根本的な考え方を記した「オリンピック憲章」を読むと、オリンピックには、スポーツを通じて優れた人間を育成し、平和な社会を築くという目的があることが分かります。

オリンピック競技大会は、そのための活動なのです。

日本が初めてオリンピックに関わったのは、一九〇九年に高橋治五郎が国際オリンピック委員会に就任してからです。彼は、現在の「オリンピック憲章」に共通する考えを持っていました。

クーベルタンは、「オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである」という言葉を残しました。オリンピックは、参加することで、人々をつなぐ後継者をつくらせるのです。私は、こうした考えを大切にしたいと思います。

【資料F】「心豊か」という言葉を調べて書いてください。

「心豊か」という言葉は、心の豊かさを指す言葉です。心の豊かさは、心の健康や幸福につながります。心の豊かさは、心の健康や幸福につながります。

【資料G】「その共通点は、……」という形で書いてください。

その共通点は、……という共通点があります。

友達の意見を受けて推敲するという、日常生活の中での対話的な場面を想定した問題です。

非連続型テキストの情報を関連づけた上で自分の考えをまとめ、相手に効果的に伝わるように文章の構成を考える問題です。

中学校 社会

小学校で学習した内容との系統性を重視した問題を取り入れています。生徒がつまづきやすい学習事項の定着を測ることができます。

(3) まさあきさんは、図書館の本で奈良時代の様子を探っていて、右の資料オを見つけ、とても不思議な印象を受けました。

そこで、まさあきさんは、資料オの内容について、さらに詳しく調べました。その結果、奈良時代にこれをつくらせた称徳天皇の考え方には、3代前の天皇である聖武天皇と共通点があることに気づきました。

その共通点

まさあきさんが

にして、「仏教

いて書きな

【資料オ】百万塔

学習指導要領での重要事項である、年表や白地図、グラフなどを用いた問題を積極的に設定しています。

2 世界の気候と人々の生活について、次の地図を見て、あとの問いに答えなさい。

(1) 世界は大きく5つの気候帯に分けることができ、そのうち乾燥帯と寒帯を除く3つの気候帯では多くの木々が育ちます。

次のX～Zのグラフはそれぞれ、それら3つの気候帯のいずれかに属する、地図中のア～ウのいずれかの都市の気候を示しています。グラフと都市の組み合わせとして正しいものを、あとの1～4から1つ選びなさい。

1 X…イ Y…ア Z…ウ

2 X…イ Y…ウ Z…ア

3 X…ウ Y…ア Z…イ

4 X…ウ Y…イ Z…ア

【資料カ】

年	できごと
734	・全国規模の大地震が起こり、多数の死者が出るなど大きな被害が出る。
737	・政權の中心にいた藤原氏の貴族4人が、大流行していた病気により相次いで死去し、藤原氏の力がおとろえ始める。
740	・藤原氏の貴族が朝廷に反発して兵を挙げることが、敗れて死ぬ。
743	・聖武天皇が大仏の建立を命じる。
752	・東大寺の大仏が完成する。
757	・光明皇后の後ろだてで勢力をのびた藤原仲麻呂が、対立する貴族をほろぼす。その後、絶大な権力をにぎる。
760	・光明皇后が死去し、藤原仲麻呂の力がおとろえ始める。
764	・このころから、各地でさまざまな勢力が起るようになる。
764	・藤原仲麻呂が上皇と対立して兵を挙げることが、敗れて死ぬ。
764	・勝利した上皇が再び即位して称徳天皇となり、百万塔の製作を命じる。
770	・称徳天皇が、陀羅尼を納めた百万塔を10の寺院に納める。

【資料キ】

答えは解答用紙に書きなさい。

22

3 中学校2年地理

「目標準拠評価方式」で子供たち ～標準学力調査が積み上げた信頼の評価方式～

目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したものです。

「出題形式」や「解答形式」が持っている一般的な特性をもとに初期設定し、かつ、プレテストなどによって検証し、実際の正答率と大きく乖離したものについては補正したうえで決定しています。

1 小問ごとに設定される「目標値」

「目標値」は、その小問の難易度を表します。
値が小さいほど、難易度の高い問題です。

目標値 80%

目標値 40%

小問ごとの「目標値」の平均値が、
教科全体の「目標値」です。

- 小問1 目標値 80%
- 小問2 目標値 80%
- 小問3 目標値 75%
- 小問4 目標値 60%
- 小問5 目標値 80%
- 小問6 目標値 60%
- 小問7 目標値 70%
- 小問8 目標値 60%
- 小問9 目標値 65%

教科総合
70%

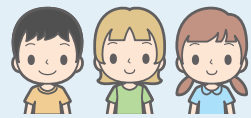
2 目標値と正答率を比較して到達状況を確認

集団（クラス、学校）の正答率を目標値と比較することで、
その後の授業設計に役立ちます。



小問8 目標値 60% クラス正答率 88%

しっかり身につけている児童生徒が多いクラスです。

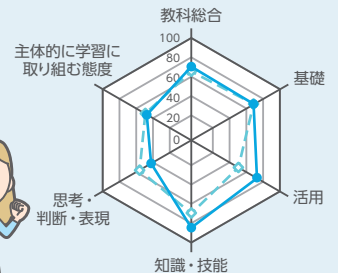


小問8 目標値 60% クラス正答率 47%

苦手な児童生徒が多いようです。
復習の時間を作りましょう。

一人ひとりの正答率を
目標値と比較することで、
学力向上の手立てが得られます。

基礎はできて
いるね！
思考・判断・
表現はもっと
伸ばせるよ！



「目標準拠評価方式」のメリット

- 1 目標値は、受検者集団に依存しない、絶対評価的に用いることができる指標です。
- 2 教科総合、基礎、活用、観点や問題の内容、解答形式など、それぞれのカテゴリーの目標値は小問ごとに設定された目標値をもとに示されるため、カテゴリー正答率と比較することができます。

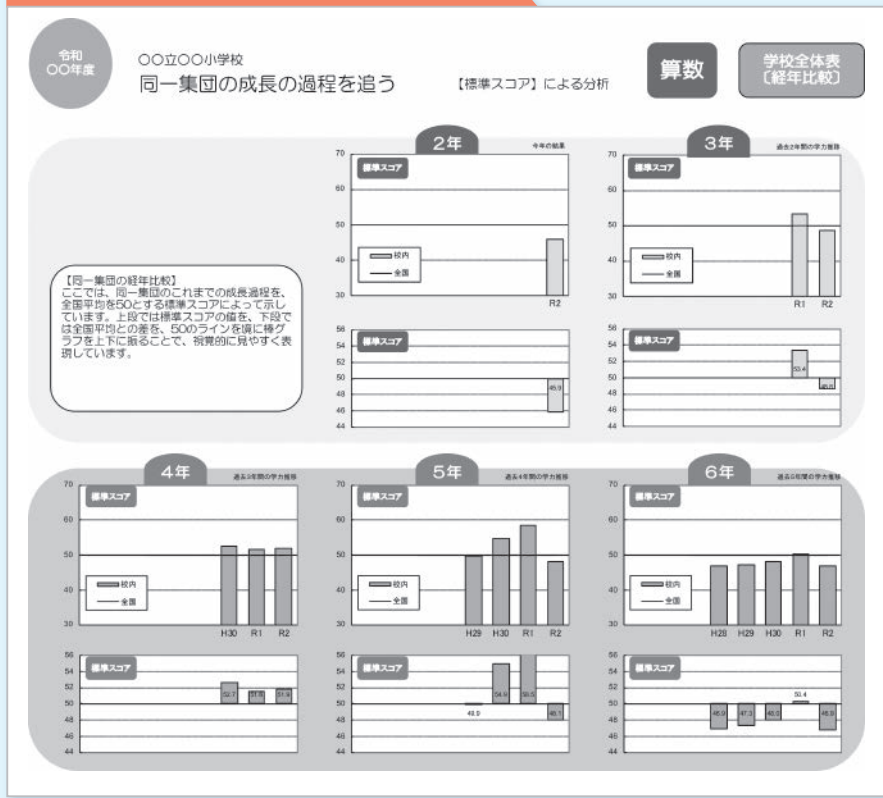
ちの到達度評価を!

「目標標準評価方式」の結果資料の例

段：段階評価方式の結果資料にも同様の資料が含まれます。

学年全体表(経年比較)

段



資料の見方
 教科ごとに、同一集団のこれまでの結果を経年で示しています。全国平均を50とする「標準スコア」による棒グラフで表し、最長6年間の学力推移の表示が可能です。

資料の見方
 全学年/全教科の結果を、文部科学省が設定した【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の観点ごとに確認できます。

全体表(観点別)

段

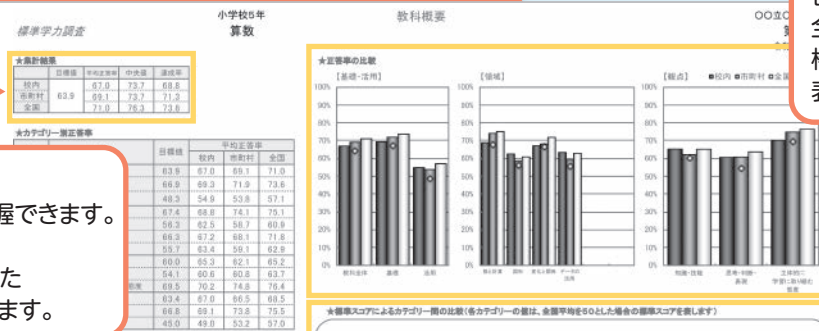
標準学力調査 全体表(観点別) 〇〇立〇〇小学校 令和〇〇年度

学年	目標	国語				社会				算数				理科				英語				全体		
		観点別正答率				観点別正答率				観点別正答率				観点別正答率				観点別正答率				正答率の合計	正答率の平均	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合							
2年	目標値	73.0	71.9	81.7	70.8	79.2	87.5	89.6	83.1	78.2	66.9	66.6	82.6	79.1	61.7	67.3	89.1	61.9	59.6	46.6	64.1	152.5	76.3	
2年	校内平均正答率	74.2	60.4	76.9	50.1					78.3	66.9	66.6	82.6									152.5	76.3	
	前年度校内平均正答率	90.8	82.8	96.8	89.9					91.0	87.0	80.8	90.8									179.8	89.9	
	全国平均正答率	79.4	69.7	81.1	63.5					84.0	68.2	72.7	88.8									143.4	81.7	
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
3年	目標値	74.8	71.9	76.4	67.0	72.0	80.5	84.2	77.4	74.8	67.6	64.2	79.6	70.1	61.7	67.3	89.1	61.9	59.6	46.6	64.1	151.6	75.8	
3年	校内平均正答率	76.8	74.7	76.8	71.9					74.8	67.6	64.2	79.6									151.6	75.8	
	前年度校内平均正答率	77.6	80.5	81.3	78.2					79.9	71.7	73.2	83.2									187.5	78.8	
	全国平均正答率	78.9	74.3	80.1	68.1					77.3	68.2	70.4	81.9									158.2	78.1	
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
4年	目標値	68.0	65.0	70.0	58.6	67.5	65.0	68.8	67.2	65.0	51.0	71.2	70.1	61.7	67.3	69.1					284.0	71.0		
4年	校内平均正答率	74.6	69.7	76.9	63.4	63.7	57.7	55.1	61.8	78.1	77.0	67.3	79.5	67.6	63.3	65.2	74.1					284.0	71.0	
	前年度校内平均正答率	91.2	90.5	85.4	89.3					89.9	89.5	82.5	91.9									181.1	90.8	
	全国平均正答率	71.9	67.2	74.1	60.5	78.4	72.4	70.5	79.0	74.8	71.2	61.8	78.0	73.3	67.0	71.2	74.8					286.4	74.1	
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
5年	目標値	68.4	61.9	57.2	62.3	64.1	58.5	58.4	69.5	63.9	60.0	54.1	69.3	66.4	65.8	58.8	62.9	61.9	59.6	46.6	64.1	309.8	62.0	
5年	校内平均正答率	67.9	60.7	56.7	63.6	53.4	45.5	49.5	55.4	67.0	65.3	60.6	70.2	57.8	53.2	49.2	67.3	63.7	62.0	49.8	64.0	309.8	62.0	
	前年度校内平均正答率	83.7	76.3	68.1	83.7	89.1	82.6	84.2	80.5	72.3	68.3	63.5	80.4	58.5	57.8	54.8	51.0					273.8	68.4	
	全国平均正答率	71.9	67.2	74.1	60.5	68.1	60.5	64.0	72.3	71.0	65.2	63.7	76.4	67.7	66.4	62.9	64.8	62.3	61.4	48.8	64.3	343.4	68.7	
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
6年	目標値	68.1	66.3	65.0	65.8	66.4	58.3	65.8	68.4	63.2	47.1	52.1	65.8	68.5	68.3	64.7	57.5	56.4	38.7			615		
6年	校内平均正答率	69.5	69.5	67.9	71.6	71.0	63.1	70.8	69.5	63.4	43.4	49.4	66.3	72.2	74.0	73.7	61.5	58.3	55.5	38.7	62.9	334.4	66.9	
	前年度校内平均正答率	88.7	84.2	88.1	83.7	88.4	82.1	61.3	60.4		64.7	64.3	64.0	59.7									123.1	61.8
	全国平均正答率	74.3	72.3	69.2	73.4	69.5	62.6	70.2	71.0	69.8	62.7	61.0	71.6	72.1	70.6	70.0	72.4	59.0	56.2	38.7	64.3	344.7	68.9	
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
評級	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
人数	△	4	4	3	1	1	1	1	1	4	2	3	4	2	1	1	1	1	1	2	2	2		
評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		

※詳細の記号は、目標値に対し、「△」-「上回っている」、「△」-「同程度」、「▽」-「下回っている」を表しています。

「標準学力調査」の結果資料の例

教科概要

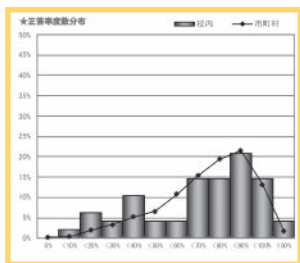


資料の見方

各カテゴリーの正答率を全国値と並べて、棒グラフで視覚的に表しています。

資料の見方

各教科のプロフィールを把握できます。「達成率」とは、目標値と同程度以上の正答率であった児童生徒の割合を示しています。



資料の見方

正答率の分布状況を示したグラフです。最頻出値がどのあたりにあるのか、また、学力が二極化していないかなど、定着度の実態を確認することができます。

資料の見方

各カテゴリーの正答率を、全国平均を50とする「標準スコア」で表し、レーダーチャートで示しています。これにより、相対的にどのカテゴリーが良好で、どのカテゴリーに課題があるのかを把握できます。

問題情報

段

問題番号	問題内容	属性	達成率	標準スコア	標準偏差	備考
1	100 算数 7角2分	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
2	100 算数 18角2分	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
3	100 算数 20角2分	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
4	140 算数 1.8	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
5	100 算数 1.8	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
6	100 算数 2.4	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
7	100 算数 3.0	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
8	100 算数 3.6	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
9	100 算数 4.2	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
10	100 算数 4.8	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
11	100 算数 5.4	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
12	100 算数 6.0	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
13	100 算数 6.6	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
14	100 算数 7.2	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
15	100 算数 7.8	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
16	100 算数 8.4	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
17	100 算数 9.0	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
18	100 算数 9.6	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
19	100 算数 10.2	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
20	100 算数 10.8	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
21	100 算数 11.4	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
22	100 算数 12.0	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
23	100 算数 12.6	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
24	100 算数 13.2	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
25	100 算数 13.8	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
26	100 算数 14.4	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
27	100 算数 15.0	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
28	100 算数 15.6	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
29	100 算数 16.2	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
30	100 算数 16.8	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
31	100 算数 17.4	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
32	100 算数 18.0	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
33	100 算数 18.6	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
34	100 算数 19.2	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
35	100 算数 19.8	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
36	100 算数 20.4	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...
37	100 算数 21.0	基礎・活用	63.9	69.1	71.0	...
38	100 算数 21.6	基礎・活用	67.9	72.7	68.6	...
39	100 算数 22.2	基礎・活用	69.1	72.7	71.2	...
40	100 算数 22.8	基礎・活用	71.0	76.3	73.8	...

資料の見方

小問ごとに以下の情報が確認できます。

【各小問の属性に関する情報】

- 解答形式
- 正答/正答条件/解答内容
- 基礎・活用
- 観点
- 領域
- 問題の内容
- 出題のねらい
- 学習指導要領との対応

【正答率に関する情報】

- 評価
- 目標値
- 校内正答率(今年度)
- 校内正答率(前年度)^{*1}
- 差(=今年度-前年度)^{*1}
- 全国正答率

^{*1} 部分改訂版のみ

結果資料の納品方法は右記の3パターンからお選びいただけます。

- 1 紙帳票のみ
2 データ (CD) のみ ※①には含まれていない結果資料も入っています。
3 紙帳票+データ (CD) ※追加料金 (1校あたり1,100円 (本体1,000円)) ががかかります。

資料の見方

設問ごとの解答類型の反応率を示しています。また、無解答率も確認できます。

資料の見方

選択問題における反応率の3つの典型的なパターン「逆転」「接近」「分散」に該当する場合は表示されます。

誤答分析シート

誤答分析シート (誤答分析シート)
Table with columns for question number, type, content, and response rates for different answer types (Correct, Wrong, No Answer).

記述問題等解答類型一覧

記述問題等解答類型一覧
Table listing question types and their corresponding answer patterns, including response rates for each type.

資料の見方

記述問題等の内容と、その類型ごとの反応率を示しています。無解答率も確認できます。

これらの資料から、児童生徒の書いた答案を具体的にイメージできます。「このクラスは、計算問題はよくできているが、事象の説明は類型2が多いから、あと一歩深く理解させたいな。」のように、指導方針に活かすことができます。

※各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。

「段階評価方式」の学力調査で ～子供たちの「自ら学びに向かう力」を育成する

学習指導要領で育成が求められる資質・能力の一つに「学びに向かう力」があります。

変化が激しく予測が困難な現代社会では、子供たちが主体的に学ぶ学習者として成長していくことが強く求められて「学びに向かう力」でキーワードになるのは「自己調整力」です。

自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤しながら調整していく力は、自律した学習習慣を確立する上で重子供たち自身が、“自分は何がわかっていて、何がわからないのか”を知り、“何をどう勉強したらいいのか”を自分で判断そこで、東京書籍は、子供たちが理解の状況を客観的に認識し、次の学習活動の見通しをもつことができる、新しい評価

子供たちの
こんな悩みを
解決したい!

何が
わからないのが、
わからない…

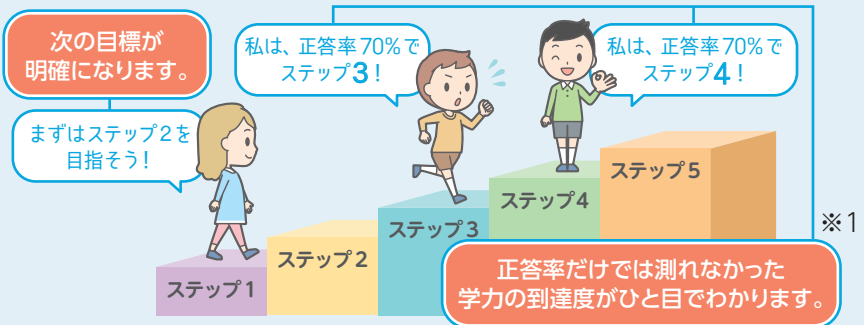
結局、何を
勉強したらいいのか、
わからない…



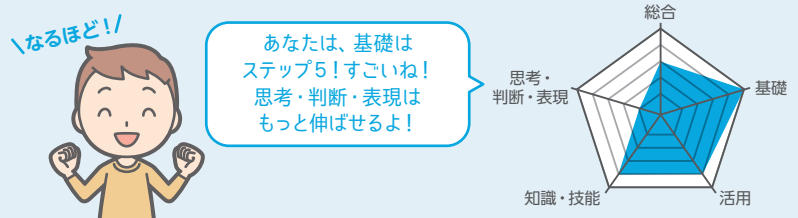
「段階評価方式」での新しい学力調査

1 新しい学力指標「ステップ」

「ステップ」は、最新のテスト理論をベースにした
5段階の“新しい学力のものさし”です。



さらに、学力を4つのカテゴリーに分け、それぞれをステップで測ります。



学力を「ステップ」でとらえることで、
自らの得意・不得意を認識することができます。

※1 問題には、教科正答率が高い子供ほど正解しやすい(識別力が高い)
識別力の高い問題に多く正解すると、ステップが高くなる傾向があり

「段階評価方式」のメリット

- 1 「潜在ランク理論 (LRT)」をベースにすることで、問題の難易度と一人ひとりの正答・誤答のパターンを反映した子供の学力を、段階的に表すことができます。正答率は「全問題数のうち何問正解できたか」という考え方で表される指標ですので、難しい問題に正解しても易しい問題に正解しても、正答率にその差異は反映されません。「段階評価方式」では、どの問題を解くことができ、どの問題を間違えてしまったのかを分析することにより、その差異を明らかにします。

子供たちに新しい学びを!

視点に立って開発した新しい評価方式～

います。

要です。

していくことに、学力向上のカギがあるといえます。

方式「段階評価方式」を開発しました。

新しい学力指標「段階評価方式」とは?

東京書籍が学力調査の評価方式として新しく開発した「段階評価方式」とは、学力を5段階の「ステップ」に順序づけて分類する方法です。最新のテスト理論である「潜在ランク理論 (LRT: Latent Rank Theory)」に基づいて設計しており、ステップ間における学力の質的な差異を浮き彫りにすることができます。

2 個別最適化した「ステップアップ」

一人ひとりの子供の「ステップ」に合った
学力向上の手立てが得られます。



自分のステップに応じた
学習ができるから、
勉強がわかる!



自分のステップに合った学習内容や方法を見つけ、
学びに取り組むことが学力向上の近道です。

3 より良い授業づくりが可能に

集団 (クラス、学校) の学力を「ステップ」で
とらえることで、その後の授業設計に役立ちます。



子供たちの「ステップ」をもとに、学力を伸ばす
カリキュラムマネジメントが実現できます。

問題、易しすぎて皆できる問題、難しすぎて誰もできない問題などのタイプがあります。

2 正答率の1ポイント、2ポイントの違い (差) について、学力の質的な意味に言及することはなかなか困難です。その点、「段階評価方式」では、子供が到達している学力段階を明確に切り分けて示すことができます。「段階評価方式」を使うことで、各ステップの学力段階から、次のステップに上がるための学びの目標が見えやすくなります。「新しい学力のものさし」で見えてくる学力段階は、授業づくりを通して集団全体のステップアップを目指すための指針となります。

「段階評価方式」の結果資料の例

ステップ別人数比(全体)

標準学力調査+ 学校全体表〔達成率・ステップ別人数比〕 ○○立○小学校 令和○○年度

学年	評価	国語					社会					算数					理科					英語					
		達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	
2年	校内	74.9	8.3	16.8	32.0	23.0	19.9					88.6	2.3	9.1	29.5	40.9	18.2										
	前年度 校内	88.8	2.0	11.3	20.5	29.1	37.1					85.7	0.0	14.3	42.9	35.7	7.1										
	市町村	88.4	3.6	8.0	33.9	26.8	27.7				△	88.4	3.6	8.0	33.0	40.2	15.2										
	前年度 市町村	84.4	1.1	14.4	23.3	38.9	22.2					83.2	4.1	12.7	23.2	32.5	27.5										
3年	校内	80.7	5.1	14.2	29.2	30.1	21.4					88.2	0.0	11.8	13.2	47.1	27.9										
	前年度 校内	85.3	4.4	10.3	29.4	42.6	13.2					81.4	4.6	14.1	24.4	37.9	19.0										
	市町村	△	86.5	3.1	10.4	28.1	43.8	14.6			△	90.8	0.0	8.4	16.7	49.0	25.0										
	前年度 市町村	82.1	4.1	13.9	22.3	36.7	23.0					87.9	2.9	9.3	22.5	42.4	22.9										
4年	校内	84.4	4.7	10.9	29.7	35.9	18.8				71.9	4.7	23.4	21.9	34.4	15.6						70.3	7.8	22.2	21.2	13.4	12.7
	前年度 校内	83.5	3.7	12.8	24.3	33.2	26.0				72.3	4.6	23.1	18.5	36.9	16.9						70.3	12.2	21.2	21.2	13.4	12.7
	市町村	△	83.5	4.2	12.5	30.2	34.4	18.8			△	71.9	3.1	25.0	22.9	35.4	13.5					75.0	5.2	20.2	21.2	13.4	12.7
	前年度 市町村	83.8	3.0	13.2	25.4	38.3	20.1				72.7	11.4	15.9	38.6	15.9	18.2						74.1	5.9	20.2	21.2	13.4	12.7
5年	校内	82.9	4.9	12.2	25.6	29.3	28.0				62.2	15.9	22.0	25.6	34.1	2.4						75.6	7.3	17.1	29.3	32.9	13.4
	前年度 校内	79.7	4.7	15.5	24.6	28.4	26.7				68.9	12.2	18.9	30.0	26.7	12.2						73.3	8.1	18.6	27.9	27.9	17.4
	市町村	△	80.9	5.5	13.6	22.7	33.6	24.5			△	61.8	15.5	22.7	26.4	31.8	3.6					76.4	7.3	16.4	27.3	34.5	14.5
	前年度 市町村	77.6	6.1	16.3	30.6	32.7	14.3				61.2	12.9	25.9	30.2	23.3	7.8						71.3	6.4	22.3	10.6	38.1	25.5
6年	校内	81.8	1.8	16.4	41.8	27.3	12.7				87.3	0.0	12.7	21.8	50.9	14.5						81.5	3.7	14.8	24.1	37.0	20.4
	前年度 校内	79.6	3.6	16.8	29.3	33.7	18.6				80.4	5.6	13.9	29.2	36.3	15.0						80.2	4.5	15.3	27.1	34.2	18.9
	市町村	△	84.7	1.2	14.1	37.6	29.4	17.6			△	87.1	1.2	11.8	22.4	48.2	16.5					83.3	2.4	14.3	27.4	36.9	19.0
	前年度 市町村	79.3	6.2	14.5	28.6	37.3	13.4				79.1	4.9	16.0	25.5	35.7	17.9						78.9	5.9	15.2	30.8	28.5	19.8
全国	73.5	6.2	20.4	33.6	25.1	14.6				75.2	7.5	17.3	24.8	33.3	17.1						67.0	6.6	22.7	27.6	27.9	15.0	

資料の見方
 教科ごとの「ステップ(学習到達段階)」の人数比と達成率を示しています。
 ※「段階評価方式」での達成率は、ステップ5+ステップ4+ステップ3の割合です。

ステップ別人数比(教科)

標準学力調査+ 小学校5年 算数 212531010 教科概要 ○○立○小学校 第5学年 令和○○年度

★高計結果

	平均正答率	中央値
校内	65.1	67.1
市町村	64.9	67.1
全国	67.3	71.4

★カテゴリ別正答率

分類	区分	平均正答率
教科全体	校内	65.1
	市町村	64.9
基礎・活用	校内	70.7
	市町村	70.6
観点	校内	55.4
	市町村	55.2
領域	校内	69.6
	市町村	69.7
解答形式	校内	53.8
	市町村	52.9

★正答率の比較

【教科全体・基礎・活用】

【観点】

★標準スコアによるカテゴリ間比較 (各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

★カテゴリごとのステップ別人数比

カテゴリ	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	達成率
教科全体	11.0	20.7	28.0	25.6	14.6	68.3
基礎	18.3	19.5	18.3	19.5	24.4	62.2
活用	19.5	17.1	12.2	25.6	25.6	63.4
知識・技能	17.1	18.3	20.7	18.3	25.6	64.6
思考・判断・表現	15.9	19.5	26.8	13.4	24.4	64.6

資料の見方
 [基礎]
 [活用]
 [知識・技能]
 [思考・判断・表現]
 の4つのカテゴリごとの「ステップ別人数比」を示しています。

これらの資料から、正答率だけでは読み取ることができない「集団の特徴」をつかむことができます。
 「このクラスは、ステップ3以下の割合が大きい。」
 「基礎は定着しているが、活用はまだ伸びしろがある。」
 のように、集団の学力の特徴をより多角的にとらえることができます。

標準学力調査の個人票

目標準拠評価方式

全受検教科の結果状況が一覧できる表とグラフを示しています。

あなたの結果

〇〇小学校 6年1組1番 児童の名前
児童のみごさんへ

この成績は、あなたの授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を讀んで学習しておきましょう。先生の「基礎」(きそ)は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことからこの調査です。「活用」(かっく)の力を使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

教科別正答率(%)

教科	教科別割合		基礎		活用	
	あなた	校内平均	あなた	校内平均	あなた	校内平均
国語	65.4	61.3	55.6	65.3	87.5	82.5
社会	57.1	62.9	52.4	55.6	68.9	62.0
算数	71.9	67.0	72.8	70.8	71.5	75.0
理科	60.0	64.3	67.0	71.4	70.0	33.3
英語	97.4	91.6	84.5	96.7	100.0	90.5

総合正答率 57.1%

小学校6年国語

問題の内容	あなた		校内平均		評価
	あなた	目標値	あなた	目標値	
図や表の内容を読み取る	66.7	70.0	66.7	70.0	○
文章を読み取る	100.0	87.7	100.0	87.7	○
文章を書く	66.7	58.3	66.7	58.3	○
言語の活用	66.7	52.0	66.7	52.0	○
読者の立場を読み取る	100.0	65.0	100.0	65.0	○
図表の内容を読み取る	66.7	58.3	66.7	58.3	○
図表を読み取る	100.0	57.7	100.0	57.7	○
文章を書く	25.0	51.7	25.0	51.7	○
総合	65.4	61.3	65.4	61.3	○

小学校6年社会

問題の内容	あなた		校内平均		評価
	あなた	目標値	あなた	目標値	
世界の国や地域	33.3	63.3	33.3	63.3	▲
日本の国や地域	66.7	63.3	66.7	63.3	○
日本の産業	0.0	72.5	0.0	72.5	▲
日本の資源	50.0	55.0	50.0	55.0	○
日本の自然環境	75.0	60.0	75.0	60.0	○
自然環境と共生生活	100.0	63.3	100.0	63.3	○
日本の産業や資源	0.0	58.8	0.0	58.8	▲
自然環境と共生生活	100.0	75.0	100.0	75.0	○
総合	57.1	62.9	57.1	62.9	▲

小学校6年算数

問題の内容	あなた		校内平均		評価
	あなた	目標値	あなた	目標値	
数の読み取り	33.3	65.0	33.3	65.0	○
数の大小	66.7	63.3	66.7	63.3	○
数の計算	100.0	65.0	100.0	65.0	○
分数の計算	100.0	75.0	100.0	75.0	○
多角形と円	50.0	77.5	50.0	77.5	○
図形	33.3	58.3	33.3	58.3	○
図形と図表	100.0	64.0	100.0	64.0	○
図表を読み取る	100.0	62.5	100.0	62.5	○
円グラフや棒グラフ	33.3	65.0	33.3	65.0	○
総合	71.9	67.0	71.9	67.0	○

小学校6年理科

問題の内容	あなた		校内平均		評価
	あなた	目標値	あなた	目標値	
天体の変化	66.7	70.0	66.7	70.0	○
植物の生長と成熟	33.3	60.0	33.3	60.0	○
動物の生活	100.0	85.0	100.0	85.0	○
植物のからだのしくみ	66.7	60.0	66.7	60.0	○
動物のからだのしくみ	66.7	81.7	66.7	81.7	○
人のからだのしくみ	100.0	80.0	100.0	80.0	○
身のまわりの物質	66.7	48.3	66.7	48.3	○
物のとけ方	33.3	53.3	33.3	53.3	○
植物のからだのしくみ	25.0	52.0	25.0	52.0	○
身のまわりの物質	50.0	47.5	50.0	47.5	○
総合	60.0	64.3	60.0	64.3	○

小学校6年英語(A)

問題の内容	あなた		校内平均		評価
	あなた	目標値	あなた	目標値	
単語の読み取り	85.7	83.0	85.7	83.0	○
アルファベットの読み取り	100.0	85.0	100.0	85.0	○
アルファベットの書き取り	100.0	76.7	100.0	76.7	○
日本語の意味を読み取る	100.0	83.3	100.0	83.3	○
英語の意味を読み取る	100.0	77.5	100.0	77.5	○
アルファベットの書き	100.0	81.7	100.0	81.7	○
単語の読み取り	100.0	71.7	100.0	71.7	○
単語の書き	100.0	87.0	100.0	87.0	○
総合	97.4	84.5	97.4	84.5	○

復習を手助けできるように、具体的な「学習のアドバイス」を載せています。

フォローアップシートにリンクしたQRコードを載せています。詳しくはP.28へ

各教科における学習到達段階を「ステップ」で表しています。

段階評価方式

ステップ図では、それぞれの教科がどのステップに到達しているのかを表しています。ステップ3を達成ラインとしています。

各教科のステップと問題の内容ごとの結果をもとに、子供たち自身が日々の学習で何をすべきか、学力UPのためのアドバイスを伝えます。

「基礎」「活用」「知識・技能」「思考・判断・表現」の4つのカテゴリーについて、教科ごとに児童生徒の学力をレーダーチャートで視覚的に表現しています。

あなたの結果

総合ステップ

教科	ステップ	あなた	正答率	校内平均
国語	4	80.8%	77.7%	
社会	5	82.1%	71.8%	
算数	3	68.8%	74.6%	
理科	2	46.7%	75.3%	
英語	4	90.2%	88.0%	

小学校6年国語

問題の内容	あなた	問題数
図や表の内容を読み取る	3	3
文章を読み取る	3	3
文章を書く	2	2
言語の活用	4	4
読者の立場を読み取る	3	3
図表の内容を読み取る	2	4
図表を読み取る	3	4
文章を書く	1	3
総合	23	28

小学校6年社会

問題の内容	あなた	問題数
世界の国や地域	3	3
日本の国や地域	2	2
日本の産業	2	2
日本の資源	4	4
日本の自然環境	3	3
自然環境と共生生活	2	4
日本の産業や資源	3	4
自然環境と共生生活	1	3
総合	23	28

小学校6年算数

問題の内容	あなた	問題数
数の読み取り	2	3
数の大小	3	3
数の計算	3	3
分数の計算	2	4
多角形と円	2	2
図形	3	4
図形と図表	1	3
図表を読み取る	3	3
図表を読み取る	3	5
円グラフや棒グラフ	0	2
円グラフや棒グラフ	1	3
総合	22	32

小学校6年理科

問題の内容	あなた	問題数
天体の変化	3	3
植物の生長と成熟	1	3
動物の生活	3	3
植物のからだのしくみ	3	3
動物のからだのしくみ	3	3
人のからだのしくみ	3	3
身のまわりの物質	3	3
物のとけ方	3	3
植物のからだのしくみ	3	3
身のまわりの物質	3	3
総合	27	32

小学校6年英語(A)

問題の内容	あなた	問題数
単語の読み取り	3	3
アルファベットの読み取り	3	3
アルファベットの書き取り	3	3
日本語の意味を読み取る	3	3
英語の意味を読み取る	3	3
アルファベットの書き	3	3
単語の読み取り	3	3
単語の書き	3	3
総合	27	32

やるよう！フォローアップシート

フォローアップシートにリンクしたQRコードを載せています。詳しくはP.28へ

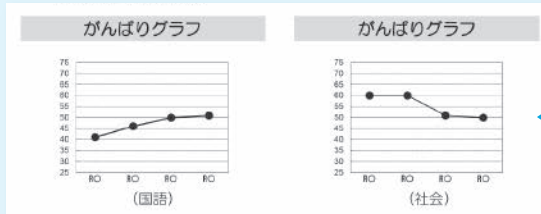
個人経年比較

オプションで個人票に、「がんばりグラフ」を用意しました。一人ひとりの調査結果の推移がわかります。

※本サービスの提供には、別途オプション料金1人あたり53円(本体48円)をいただきます。

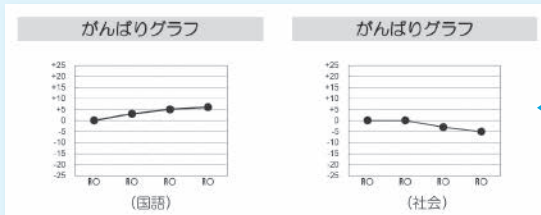
※右記の3種類からお選びいただけます。

標準スコア



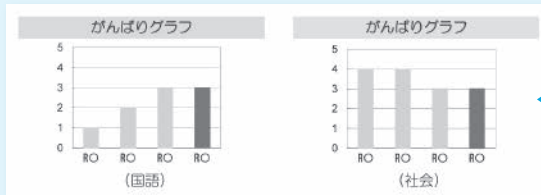
教科ごとの成績(標準スコア)を毎年プロットし、折れ線グラフで学力の推移を表します。

自己内評価



調査初年度の成績を、全教科横並びで0に設定し、これを基点にして以降の学力の推移を折れ線グラフで表します。

ステップ評価 (段階評価方式のみ)



教科ごとの成績(総合ステップ)を毎年プロットし、棒グラフで学力の推移を表します。

個人票の裏面

個人票の裏面には、児童生徒や保護者用に「個人票の見方」を示しています。

こじんのよう みかた 個人票の見方 児童・保護者の方へ

この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

左の表の「基礎(さき)」は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことから選んでいます。「活用」「基礎」の力をを使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

1 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

2 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

3 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

4 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

5 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についたかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

6 やってみよう！フォローアップシート QRコードからプリントをダウンロードしてやってみよう。

1教科書の記号を書く
QRコード
http://123456789012345

2日本の国旗
QRコード
http://123456789012345

3基礎的な内容分け
平均
QRコード
http://123456789012345

※フォローアップシートの使用料がかかりませんが、通信費は自己負担になります。

新学習指導要領の全面実施に合わせて、標準学力調査に小学校英語が加わりました。小学校・中学校ともに、「聞く」「読む」「書く」の3技能からバランスよく出題し、リスニング問題と筆記問題で構成しています。

小学校英語

小学校英語の学習内容について定着状況を確認し、つまづきやすい課題を明らかにすることによって、小中の接続をスムーズにします。

3 これから、アルファベットを言います。そのアルファベットを、
(1)と(2)は大文字で、(3)と(4)は小文字でそれぞれ書きましょう。

(1) ○○○○

アルファベットの読み方を聞いてアルファベットを書く問題では、結果資料に誤答類型を載せています。誤答を主に以下の4つのパターンに分類し、誤答の原因を明らかにします。

- ①大文字と小文字の書き間違い
- ②4線上の位置の間違い
- ③読み方の似た文字との間違い
- ④形の似た文字との間違い

身近なやり取りの場面や、発表学習の場面を通して、具体的な情報を聞き取る力、概要を捉える力を測ります。

8 これから、はるかがアルバムを見せながら、夏休みの思い出について発表します。その英文をよく聞いて、はるかがアルバムで使った写真を下の1～5から3つ選んで、その番号を書きましょう。

My Summer Vacation

聞く

10 次の絵にあてはまる英語を、右の1～4から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

(1) 1 carrot
2 corn
3 onion
4 potato

音声で十分に慣れ親しんだ言葉を読むことができるかを問う問題です。小学校6年生の3学期版以降では、音声を聞きながら英文を読み、内容の理解を問う問題も出題しています。

読む

11 次の絵の内容に合うように、あとの①、②に入る言葉を、それぞれ.....から正しい順序で選んで、英文を完成させましょう。答えは、ア～ウの記号で書きましょう。

(1)
ア oranges イ apples ウ like

I ① ②

書く問題では、キーワードとなる英語を書き写したり、例文や語群を参考にしながら、自分の気持ちや考えを表現したりする問題を出題します。

小学校6年生の3学期版以降では、語順の理解を問う問題を出題しています。

解答用紙には、第2線と第3線の間が広い4線を採用。小文字も書きやすい仕様です。

_____ is from _____
_____ is good at _____

13 いくつかの国の友だちが集まって、おたがいの出身国と得意なスポーツを紹介することになりました。次の資料の中から好きな人物を1人選び、【例】にならって、その人を紹介する英文を完成させましょう。2文目のはじめの言葉は、HeかSheを選んで書きましょう。【例】で使っている人は選べません。

友だちの紹介文

【例】 Akira is from Japan.
He is good at karate.

_____ is from _____
[He/She] is good at _____

男の子の友だち	女の子の友だち
<p>【例】 Japan karate</p>	<p> Germany soccer</p>
<p> China table tennis</p>	<p> India badminton</p>

書く



小学校英語
聞き取り音声 CD サンプル▶
※通信費は、自己負担になります。

中学校英語

学習指導要領に基づき、基礎的な学力の定着を確認しながら、全国学力・学習状況調査などにも対応できる問題形式です。

「話すこと」の技能は標準学力調査の商品の一つである、「英語スピーキング調査」で測ることができます。詳しくはP.21へ!▶

3 英語の授業で、ある生徒が自分の家族について、次の3枚の写真を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウなどのような順番で見せてみましょう。正しい順番を、あとの1~4から1つ選びなさい。英文は2回くり返します。

ア イ ウ

1 イーウア
2 イーアウ
3 ウーアイ
4 ウーイア

4 日本でゲームスライ中の女子中学生ジェーンは、学校の英語部と習字部に興味を持っています。これから、副読本のマリスがジェーンに話している様子について説明します。マリスが一番伝えたいことはどのようなことですか。最も適切なものを、あとの1~4から1つ選びなさい。英文は3回くり返します。

1 Judo is a good Japanese sport.
2 Jane can learn judo from Yumi.
3 We play baseball with nine players.
4 Let's play baseball.

スピーチや留学生との交流など、実際に生徒が英語を使用する場面の問題を設定し、問題を解く目的や必要性を感じられるような出題を意識しています。

リスニングの問題では、「必要な情報を聞き取ることができる」「話の概要を捉えることができる」「説明の要点を捉えることができる」などの力を測る問題を新たに出題しています。

※リスニングでは、問題形式により、繰り返しありの問題と繰り返しなしの問題があります。

こと

こと

6 次の(1)と(2)の間に答えなさい。

(1) 次の①~④の対話文が成り立つように、()に入る最も適切なものを、あとの1~4から1つずつ選びなさい。

① A: What () Emily looking at?
B: She's looking at that picture. It's very beautiful.
1 do 2 does 3 are 4 is

② A: Can Bob () basketball well?
B: Yes. He practices every day.
1 play 2 plays 3 playing 4 is playing

7 次の(1)~(3)の間に答えなさい。

(1) テッドの部屋はイモを飼うことについて考えています。彼のペットの種類のあとに、最もイモを飼える犬の品種に、ボットショップ(pet shop)で売られているイモの写真を見比べてください。最も適切なものを、あとの1~4から1つ選びなさい。

My family and I like dogs very much. We want a dog. My mother and I want a black dog, but my father and my sister want a white one. And we "all like small dogs. We "e'd go to a pet shop and look at them.

1 アロイ 2 アロウ 3 イロエ 4 ウロエ

「読むこと」の活用問題では図や表などの情報を関連づけて、より生徒たちが考えて問題を解くような工夫をしています。

文法問題(読むこと)や語順整序問題(書くこと)などで基礎的な学力の定着を確認します。

こと

9 次の対話文の横線の直る文になるように、()内の語を正しく並べかえて書きなさい。ただし、文頭にくるものも小文字になっています。

(1) A: (you / could / the window / open?)
B: OK.

(2) A: (studying / sister / is / your) now?
B: Yes. She studies English every evening.

11 あなたは、アメリカからの留学生に、あなたの友達(女子)を次の(1)から(3)の情報をもとに紹介することになりました。これらの情報を用いて、その友達について紹介する英文をそれぞれ書きなさい。

(1) 部活	judo club
(2) 好きな教科	math
(3) サッカー(soccer)ができるかどうか できる(○)できない(x)	○

英作文では、小学校の「例文や語群を参考に書くこと」との系統性を重視し、「自分で文章を組み立てて書くこと」へと、レベルを上げた出題をしています。

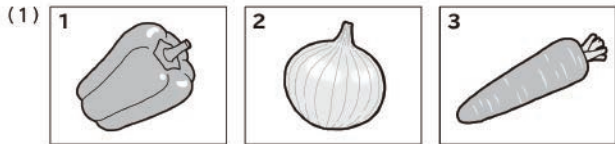
全国学力・学習状況調査タイプの問題も出題するなど、様々なタイプの問題に対応する力を測ることができます。

Let's
Listen!

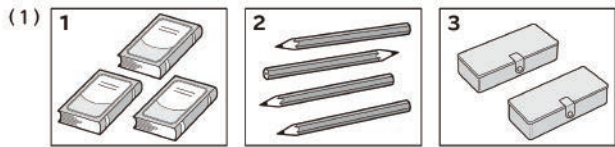
小学校5年生 英語調査 「レッツ リッスン！」

文部科学省発行の小学校英語教材「Let's Try!」に対応した内容の評価テストです。
小学校中学年までの基礎固めをしっかりとすることで、高学年での学習につなげます。

1 これから、いくつかのことばを言います。そのことばにあてはまる絵を、次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●●●●●●●



3 これから、英語で質問をします。その質問の答えとなるものはどれですか。次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●



まず、身近な単語の聞き取り問題から始まり、その後、日常場面を想定した対話の聞き取り問題があります。あいさつ、やり取り、自己紹介など、基本的な英語の理解を確認します。

アルファベットの聞き取り問題では、文字と読み方の結びつきを確認します。

2 これから、いくつかのアルファベットを言います。そのアルファベットを、次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●●●●●●●

(1) **1** E **2** F **3** H

「レッツ リッスン！」の特長

● 文部科学省教材「Let's Try!」に対応

文部科学省 外国語活動教材「Let's Try!」に完全準拠した内容です。小学校3・4年生で学習した内容から網羅的に出題しています。

● 「できる」「楽しい」が実感できる

イラストが豊富で、はじめて英語のテストを受ける子供たちでも安心してご実施いただけます。

● 問題はすべてリスニング方式

すべて音声CDによる聞き取り問題です。また、すべて選択肢式となっており、子供たちにとって取り組みやすい内容となっています。

● 定着状況が確認できる結果資料

先生用の資料では、子供たちの苦手な内容や、どのような間違いをしているのかを具体的に把握することができ、今後の指導に活かせます。

商品の概要

- **実施学年・時期**：小学校5年生・1学期実施
- **実施方法**：すべて音声CDによる聞き取り問題
- **問題数**：全38問
- **販売価格**：1人あたり390円（本体355円）

- **実施時間**：20分程度
- **出題範囲**：「Let's Try! 1・2」の全範囲
- **解答形式**：すべて選択問題

Let's
Speak
English!

中学校英語 「英語スピーキング調査」

英語の4技能の1つである「話すこと」の力を正しく測ることのできる調査です。
「質疑応答」、「やり取り」、「スピーチ」の出題に加え、
発音等の正しさを測る「音読」の問題（「読むこと」の評価）も出題します。

やり取りの問題

やり取りの問題では、提示された状況に即興で対応する「生きた英語力」を問います。



あなたの番です。ブラウン先生に、英語でインタビューしてください。

音読の問題



音読の判定は、人間の判断ではぶれが生じてしまいがちです。この調査では、音声解析技術を使い、公平な判定を行います。

「英語スピーキング調査」の特長

●英語の4技能をトータルで評価

標準学力調査と同時に実施していただくことで、聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと [やり取り] [発表] を網羅的に評価できます。

●学校の負担が少ないCBT調査

この調査は、インターネットに接続したコンピュータを使用し、学校で使用されているWebブラウザ上で調査URLに接続するオンライン方式で行います。データを保存するなどの作業は必要ありません。

●すべての教科書に準拠

この調査で扱われる単語、文法は、現在使用されているすべての教科書に準拠しています。未学習の単語や文法に戸惑うことなく、日々の学習の成果を測ることができます。

●実績のあるCBTシステム「TAO」を採用

「TAO」は、国内外での大規模調査で実績のあるCBTシステムです。シンプルな操作で受検することができるので、PCの操作に不慣れな生徒も安心して受検できます。

商品の概要

- 実施学年：〔1学期実施版〕中学校2、3年生 〔3学期実施版〕中学校1、2年生
- 実施方法・時間：1グループ（20人程度）につき、20～25分程度
- 解答形式：PCに差し込んだヘッドセットを使用した口述式
- 問題数：全8問（音読：1問、質疑応答：5問、やり取り：1問、スピーチ：1問）
- 販売価格：1人あたり1,650円（本体1,500円）

※ご実施いただくためには、使用するPCが一定の条件を満たしている必要があります。詳しくは担当者にお問い合わせください。

※問題はサンプルです。※仕様等は、予告なく変更することがあります。 21

総合質問紙調査



学習指導要領の改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて、学校で取り組みが進められていることと思います。そして、学びの基盤となる学級経営にも、ますます関心が寄せられています。i-checkは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、子供の個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。子供たち一人ひとりが自分を大切に思っているか、クラスの間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化します。先生方の学級経営や総合的な児童生徒理解にお役立ていただけましたら幸いです。

質問群のカテゴリー

第1	第2	第3
自己認識	愛されていますか	家族のささえ
		友だちのささえ
		先生のささえ
	自己肯定感	成功体験と自信
		充実感と向上心
		感動体験
		他者からの評価
社会性	ソーシャルスキル	規範意識
		思いやり（人間関係構築力）
		発信力
	対話・話し合い	
社会参画	社会参画	
学級環境	学級風土	学級の規範意識
		学級の絆
	リスク管理	いじめのサイン
		対人ストレス
学習生活・学習習慣	生活習慣	生活習慣
	学習習慣	学習習慣
		学習意欲

結果資料一覧

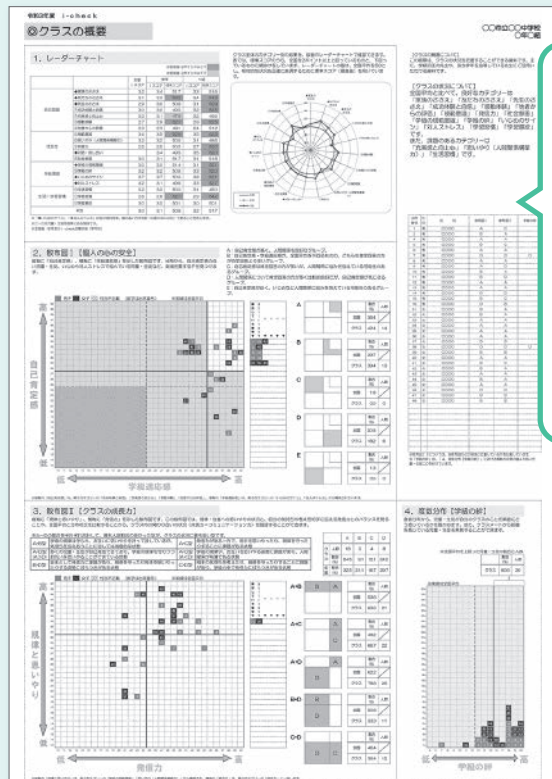
- 学年資料
 - ・学年の概要
 - ・回答構成比
- クラス資料
 - ・リスクマネジメント票
 - ・クラスの概要
 - ・回答結果一覧（質問別、カテゴリー別）
 - ・個人票【先生用】
- オプション
 - ・道徳関連資料
 - ・学力とのクロス集計
 - ・年度内複数回実施の推移
- 返却資料
 - ・個人票【児童生徒用】

i-checkの工夫

- ・場面を想像しや表現を工夫して
- ・学習指導要領に
- ・結果資料をわか

結果資料の紹介

クラスの概要



「クラスの概要」では、レーダーチャートや散布図、度数分布などにより、クラスの現状や課題、成長力等を把握・分析していただけます。

回答結果一覧

質問別

標準スコア

「回答結果一覧（質問別）」では、確認できます。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

多く、子供たちの負担になりにくいように、質問文のいいます。合わせて、質問項目、カテゴリーを見直しています。りやすく、短時間で状況を把握できるようにしています。

調査時間：1 単位時間程度
質問数：54～93問
販売価格：1人あたり420円（本体 382円）
調査結果：i-checkの結果資料は、紙帳票＋データ（CD）で納品されます。

リスクマネジメント票

個人票

1 いじめのサイン
ここでは、「いじめのサイン」について、カテゴリー標準スコアの数値が一定以下の児童生徒をリストアップしています。
※児童生徒リストは、標準スコアの昇順に並べています。
2 対人ストレス
ここでは、「対人ストレス」について、カテゴリー標準スコアの数値が一定以下の児童生徒をリストアップしています。
※児童生徒リストは、標準スコアの昇順に並べています。
Table with columns: 出席番号, 性別, 名前, 標準スコア

個人票
児童の成長度
学級生活
リスク管理
生活習慣
学習生活
Table with various assessment items and scores.

【先生用】は、質問項目への回答状況を抜粋して掲載しているほか、喫緊の課題を抱える児童生徒についてはアラートを表示します。【児童生徒用】は、その子のよいところと課題を、子供へのメッセージ形式で掲載しています。

いじめや、家庭状況等に困り感のある児童生徒をリスト化した資料です。短時間で、リスク管理の面において気になる児童生徒を把握できます。

あなたの未来のための i-CHECK シート
あなたのチャート
あなたの生活や学習習慣と、あなたのメッセージ
全国の子たちのちのちのなやみごとは
Includes charts and text for student self-reflection.

カテゴリー別
Table with multiple columns showing category-wise data for various subjects and skills.

学力との関連

道徳関連資料

別)では、質問ごとの回答状況していただけます。回答結果一覧気になる子供のカテゴリー概要を

標準学力調査と併用していただくと、教科学力とのクロス集計が可能となります。

道徳科の学習指導要領の内容項目との関連資料です。

※お申し込みいただいた場合のみご提供する、オプション資料です。

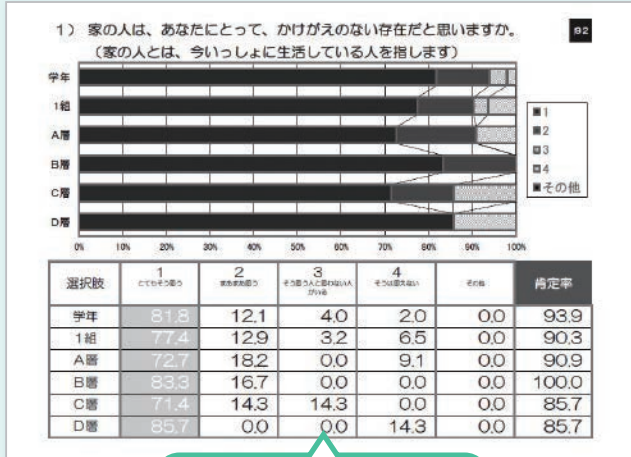
*一部の資料は、データのみのご提供となります。

総合質問紙調査 i-check

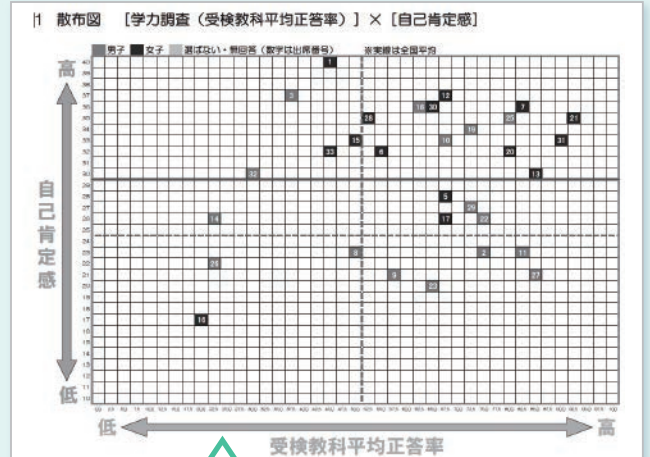
学力調査とのクロス資料

i-checkを標準学力調査と併用していただくと、教科学力とi-checkのクロス集計が可能となります。

結果資料



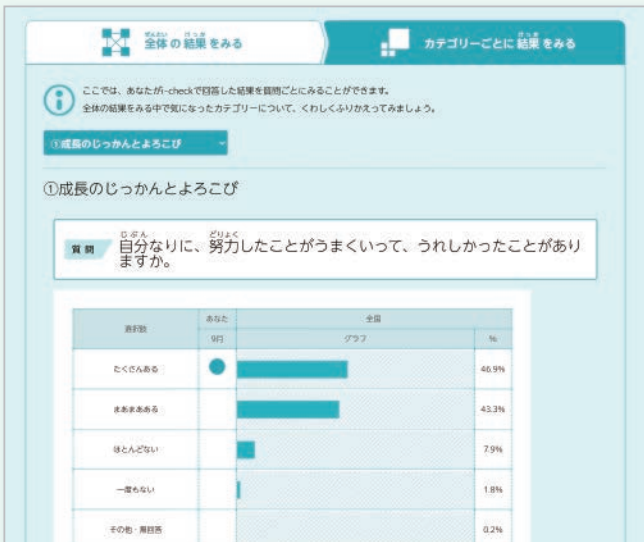
学力層別の回答構成比を確認することができます。



散布図の横軸に学力をとり、「自己肯定感」「生活習慣」「学習習慣・意欲」の3カテゴリーとクロスした散布図を確認することができます。

マイアセス

マイカルテ



児童生徒は、自分の端末から、自分の結果の概要や小問ごとの回答結果を閲覧できます。

学校カルテでは、散布図の各軸の組み合わせを変えられたり、散布図上のプロットを押すと、該当する児童生徒が名簿上で色付けされるなど、Webならではの表現で、結果がより読み取りやすくなるよう工夫しています。

学校カルテ



その他 質問紙調査

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

※「生活行動・学習活動調査」「生活・学習意識調査」は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査との併用が前提であり、質問紙調査単体でのお申し込みは受け付けておりません。

生活行動・学習活動調査

「基本的な学力」を支えるのは「基本的な学習習慣」であり、「基本的な学習習慣」を支えるのは「基本的な生活習慣」です。

学力を支える基本的な学習習慣や生活習慣が身についているかを自己確認することで、“自らの目標を掲げて主体的に努力する”児童生徒の育成を目指しています。

個人票

学校用資料



標準学力調査と併用していただくと、学力調査の結果に基づいた《学力層別分析》の資料をご提供いたします。

児童生徒一人ひとりが、日々の生活や学習活動の中で、個々の課題に応じて具体的な目標を掲げて取り組めるよう、学力と学習活動の様子を把握することができます。

各層の傾向と課題を把握できるだけでなく、児童生徒や保護者に対して、きめの細い、より具体的な助言ができます。



調査時間：約30分

質問数：生活行動51問

学習活動（各教科）16～18問

販売価格：1人あたり321円

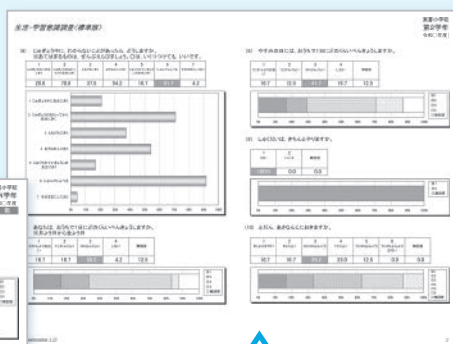
(本体292円)

生活・学習意識調査【標準版】

地域や学校の傾向を、グラフ化してご提供します。「意識調査はしたいが1単位時間はかけられない」という場合などに有効です。（※個人票はありません）

学校用資料

標準学力調査と併用していただくと、学力調査の結果に基づいた《学力層別分析》の資料をご提供いたします。



調査時間：約15分

質問数：24～52問

販売価格：1人あたり

163円

(本体148円)

個人データを集計し、学校やクラスの生活状況や学習状況の傾向を把握できる資料です。

「新しいまなび!」のプラットフォーム マイアセス

～紙 (PBT) での調査実施の場合のご活用について～

マイアセスとは・・・

マイアセスは、東京書籍が提供する「新しいまなび!」のプラットフォームです。

東京書籍の評価関連商品『標準学力調査』『総合質問紙調査 i-check』を実施いただくと、紙の結果資料に加えて、マイアセス上で結果を閲覧することができます。

また、児童生徒はマイアセス上で「復習サポート」などの学習活動を行うことができます。



total ID でつながる、データ利活用の促進

マイアセスでは、「total ID」という東京書籍の共通アカウントシステムを導入しています。1つのIDで、東京書籍の様々なコンテンツやサービスのデータが紐づくようになります。データ利活用により、今まで以上に子どもたちの状況に合った学びを実現することができます。

※ GoogleアカウントやMicrosoftアカウントなどを利用した「シングルサインオン」に対応

GIGA 端末を利用した
オンライン調査のCBTシステム



「マイアセス CBT」は、マイアセス経由でCBTを実施できるサービスです。

令和5年度より『i-check CBT』、
令和6年度より『標準学力調査 CBT』を提供しています。
マイアセス CBT を実施の場合、
PBT より早く結果を閲覧することができます。

調査結果をマイアセス上のWeb Webカルテでは、児童生徒用のそれぞれ専用のWebカルテを提



Webカルテ

カルテで閲覧することができます

「マイカルテ」、学校用の「学校カルテ」「子どもカルテ」、教育委員会用の「教育委員会カルテ」と、
供します。

学校カルテ・子どもカルテ



『標準学力調査』の学校カルテでは、
学年別や教科別、クラス全体、個人
など、先生方の分析の視点に合わせて
カルテをまとめています。

子どもカルテでは、児童生徒一人ひとり
に焦点をあてて、調査結果の概要や
詳細を把握することができます。

※紙の調査を実施した場合、「子どもカルテ」を閲覧
するには、コード連携を行っていただく必要があり
ます。

問題ごとの結果

大別	問題番号	領域	問題の内容	難易度	正誤	正答率			
						クラス	学年	市区町村	指定全領域
1	1	情報の扱い方に関する事項	言葉の学習	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	0.0%
	2	話すこと・書くこと	グループで話し合う	5	○	20.0%	20.0%	26.1%	2.5%
	3	話すこと・書くこと	グループで話し合う	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	5.0%
	4	話すこと・書くこと	グループで話し合う	5	○	20.0%	20.0%	28.3%	7.5%
	5	話すこと・書くこと	グループで話し合う	5	×	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
2	1	書くこと	ポスターを書く	5	○	20.0%	20.0%	28.3%	12.5%
	2	書くこと	ポスターを書く	5	○	20.0%	15.0%	28.3%	15.0%
	3	書くこと	ポスターを書く	5	○	20.0%	15.0%	26.1%	17.5%
	4	書くこと	ポスターを書く	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	20.0%
3	1	読むこと	説明文を読む	5	○	20.0%	20.0%	26.1%	22.5%
	2	読むこと	説明文を読む	5	○	20.0%	20.0%	28.3%	25.0%
	3	読むこと	説明文を読む	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	27.5%
	4	読むこと	説明文を読む	5	○	20.0%	15.0%	26.1%	30.0%
4	1	読むこと	物語を読む	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	32.5%
	2	読むこと	物語を読む	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	35.0%
	3	読むこと	物語を読む	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	37.5%
	4	言葉の特徴や使い方に関する事項	言葉の学習	5	○	20.0%	20.0%	26.1%	40.0%
5	5	言葉の特徴や使い方に関する事項	言葉の学習	5	○	20.0%	20.0%	30.4%	42.5%
	6	言葉の特徴や使い方に関する事項	言葉の学習	4	○	20.0%	20.0%	23.9%	45.0%
	1	言葉の特徴や使い方に関する事項	言葉の学習	4	○	20.0%	20.0%	30.4%	47.5%
	2	絵が関る言語文化に関する事項	言葉の学習	4	○	20.0%	20.0%	30.4%	50.0%
	3	情報の扱い方に関する事項	言葉の学習	4	○	100.0%	100.0%	100.0%	52.5%

紙の調査のWebカルテは、total IDに新たに登録いただかなくても
閲覧することができます。

ただし、「子どもカルテ」「マイカルテ」「復習サポート」など、コード連携を
行わないと閲覧できないカルテや利用できないサービスがあります。

「新しいまなび!」のプラットフォーム マイアセス

マイカルテ

令和5年度 標準学力調査 (部分改訂版)
小学校6年生/1学期

標準学力調査

全体の結果をみる 教科ごとの結果をみる

ここでは、あなたが受検した標準学力調査の結果を教科ごとに見ることができます。それぞれの教科の自分の結果を、「観点」や「問題の内容」「問題」ごとにくわしく見ることができます。ふりかえったら、自分の得意や課題に合わせて、「やってみよう! フォローアップドリル」に取り組みましょう。

算数

教科総合・カテゴリー別正答率

観点	あなた	グループ	目標値
総合	86.5		66.4
基礎	90.0		71.2
活用	71.4		45.7
知識・技能	89.3		72.0
思考・判断・表現	77.8		48.9
主体的に学習に取り組む態度	85.7		51.4

問題の正誤情報まで見ることができるため、児童生徒は今まで以上に自分の得意・苦手を確認しやすくなります。

問題ごとの結果と問題の詳細

進捗番号	問題番号			問題の内容	目標値	あなたの結果
	大問	中間	小問			
1	1	(1)	整数のなかま分け	75.0	×	
2		(2)	整数のなかま分け	85.0	×	
3		(3)	整数のなかま分け	65.0	○	
4	2	(1)	分数と小数	75.0	○	
5		(2)	分数と小数	70.0	○	
6	3		分数と小数	75.0	○	
7	4		分数と小数	35.0	○	

児童生徒一人ひとりが、自分の端末から結果を閲覧できます。

※紙の調査を実施した場合、「マイカルテ」を閲覧するには、total IDアカウント登録を行った上で、コード連携を行っていただく必要があります。

復習サポート

『標準学力調査』を実施した場合、その復習として、マイアセス上で「復習サポート」を提供します。今まで以上に、児童生徒一人ひとりの得意や苦手に寄り添った学習をサポートします。

※「復習サポート」を利用するには、total IDアカウント登録を行った上で、コード連携を行っていただく必要があります。

デジタルフォローアップドリル

あなたの結果と、とりにくではいドリルです。

学習内容	目標値	あなたの結果	ドリル	ドリル
1年間の植物の成長	ヘチマの成長の順序を理解している。	○	ドリル1	ドリル2
1年間の植物の成長	他のヘチマとサクラのようすを比較している。	○	ドリル1	ドリル2
1年間の植物のようす	オオカマキリの1年間のようすを理解している。	○	ドリル1	ドリル2
1年間の植物のようす	寒い時期に、動きがあまり活発しないことを理解している。	○	ドリル1	ドリル2
天気の様子と気温	気温の測り方として適切なものを指摘できる。	×	ドリル1	ドリル2
天気の様子と気温	記録簿用紙の記録から、天気の変化を把握できる。	×	ドリル1	ドリル2

調査で明らかになった自分の得意や苦手に合わせて、デジタルドリルで復習することができます。
※無料で利用できます。

有償サービス

タブドリLive!

「タブドリLive!」と連携し、自分の結果に合わせて復習することができます。

※別途「タブドリLive!」の注文が必要です。



フォローアップドリル

紙の個人票に掲載のQRコードから、 事後復習教材をダウンロードすることができます。

令和〇年度 標準学力調査

あなたの結果

〇〇市立〇〇小学校 6年1組1番 児童の名前

※総合ステップとは、総合学力を、学校の学習進度(うたつこ)を5人組で見て、1,2,3が学習内容についているかを表します。
総合ステップは、「基礎(基本)」、「応用」、「発展(挑戦)」の3段階で評価されています。総合ステップは、各教科の総合的な学習内容から、算出されています。

あなたのメッセージ
●総合ステップが「1」、「2」の教科について、よく復習しよう。
●総合ステップが「3」の教科について、よく復習しよう。
●総合ステップが「3」の教科について、よく復習しよう。
●総合ステップが「3」の教科について、よく復習しよう。
●総合ステップが「3」の教科について、よく復習しよう。

教科ごとの結果

教科	総合ステップ	あなた	校内平均
国語	4	80.8%	77.1%
社会	5	82.7%	71.8%
算数	3	66.8%	74.6%
理科	2	46.7%	75.3%
英語	4	90.2%	88.0%

小学校6年国語

小学校6年社会

小学校6年算数

小学校6年理科

小学校6年英語(A)

がんばりグラフ

漢字を書く
問題の内容を読み取る

自然環境と国産食品

国語

天気の変化
人の人さし

チャレンジ問題1
チャレンジ問題2

受けていただいた教科は、個人票にピックアップされた問題の内容のピックアップされた問題の内容以外にも、すべての教材をご利用いただけます。自主学習や家庭学習、長期休暇の課題としてもご利用ください。

※フォローアップの利用料はかかりませんが、通信費は自己負担になります。

個人票では、児童生徒の結果をもとに、2種類のフォローアップをピックアップしています。

事後復習教材の例



↑
フォローアップのサンプル
※通信費は、自己負担になります。

フォローアップ

問題の内容ごとに教材をご用意しています。

チャレンジワークシート

得意な児童生徒は、応用問題にチャレンジできます。

たしかめドリル

たしかめドリルは、国語、算数・数学、英語(中学校内容のみ)をご用意しています。

小学算数6年 フォローアップ

約数と最大公約数

名前 番 月 日 正誤率

① 8と12の最大公約数を求めよう。

それぞれの約数を、小さいほうから順に、ぜんぶ書き、

8の約数 → 1, 2, 4, 8

12の約数 → 1, 2, 3, 4, 6, 12

どなるので、

8と12の公約数は、

の3個、このうち、

最大公約数は、

()のうちの最大公約数を求めよう。

(1) (5, 15) (2) (8, 20) (3) (12, 18)

小学英語6年 フォローアップ

チャレンジワークシート①

名前 番 月 日 正誤率

① 次の紹介文を読んで、①~③の英文とその内容を表す写真を線で結びましょう。

(1) 自己紹介

Hi, I'm Manami.

① My birthday is May 15th.

② I have a cat.

③ I like animals.

(2) 友達の紹介

This is Kenji.

① He is my friend.

② He can run fast.

③ He can swim fast, too.

小学算数6年 たしかめドリル

平行四辺形、台形、ひし形の面積

月 日 本 番 名

次の図形の面積を求めよう。

(1) 平行四辺形 (2) 平行四辺形

(3) 台形 (4) 台形

(5) ひし形 (6) ひし形

調査問題のラインナップと概要

■教科・学年ラインナップ

	学力調査										質問紙調査		
	1学期実施版					3学期実施版							
	部分改訂版・全面改訂版					部分改訂版・全面改訂版					i-check	生活行動・ 学習活動 調査	生活・学習 意識調査
国語	社会	算・数	理科	英語	国語	社会	算・数	理科	英語				
小1						◎◆		◎◆			◎		
小2	◎◆		◎◆			◎		◎			◎		◎
小3	◎		◎			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小4	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小5	◎	◎	◎	◎	★	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎★	◎*	◎*	◎*	◎*	◎*	◎	◎	◎
販売 価格	各学年1教科:400円(本体364円)										420円 (本体 382円)	321円 (本体 292円)	163円 (本体 148円)

◆小学校1年生の3学期実施版と小学校2年生の1学期実施版は、解答用紙が問題と一体型となっています。

※3学期実施版の全面改訂版では、中学校3年生の発行はありません。

★小学校外国語活動の調査については本冊子20ページを、中学校英語スピーキング調査については本冊子21ページをご覧ください。

■出題範囲 (部分改訂版・全面改訂版共通)

1学期実施版 前学年の学習内容(中学校1年生は小学校内容となります)

3学期実施版 当該学年11月までの学習内容

■評価方式

- 結果資料は、「目標準拠評価方式」と「段階評価方式」の2種類があり、ご注文の際にどちらかを選択することができます。
- 「生活行動・学習活動調査」「生活・学習意識調査」は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査との併用が前提であり、質問紙調査単体でのお申し込みは受け付けておりません。

■調査結果の納品方法について →11ページも併せてご参照ください

学力調査の結果資料の納品方法は、下記の3パターンからお選びいただけます。

①紙帳票のみ

②データ(CD)のみ

※紙帳票には含まれていないSP表など追加の帳票データも入っています。

③紙帳票+データ(CD)

※追加料金(1校あたり1,100円(本体1,000円))がかかります。

※①②③いずれを選んだ場合も、
個人票は紙ベースで返却されます。

オプション 以下を選択することにより、追加料金を伴うものがあります。

学力調査

- **個人経年比較資料**…1人あたり 53円(本体48円)となります。
※「標準スコア」、「自己内評価」、「ステップ(段階評価)」の3種類があり、1つを選択することができます。
※通常の結果資料作成に加えて5営業日いただきます。
- **事後復習教材作成機能**…無料です。お申し込みの際にご注文ください。
- **分析レポート(考察資料)作成機能**は、1学年1教科5,500円(本体5,000円)となります。

i-check

- **道徳関連資料**…無料です。お申し込みの際にご注文ください。

その他のWebサービス

- **やってみよう!フォローアップシート**…個人票のQRコードから、ダウンロードすることができます。
※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信費は自己負担となります。

マイアセスでのサービス提供

- **Webカルテ**…紙で実施した調査の結果を、マイアセス上のWebカルテで閲覧することができます。
※児童生徒用の「マイカルテ」と、先生用の児童生徒個人票である「子どもカルテ」を閲覧する場合は、total IDに登録の上、コード連携を行う必要があります。
- **復習サポート**…児童生徒の端末から、マイアセス上のデジタルドリル「デジタルフォローアップドリル」で、調査結果の復習に取り組むことができます。
『タブドリLive!』をお申し込みの場合は、『タブドリLive!』のドリルで復習することもできます。
※『タブドリLive!』は有償です。
※マイアセスの利用を希望の場合は、お申し込みの際に「マイアセスあり」をご注文ください。
※[total ID]は、東京書籍の共通アカウントシステムです。

調査問題の利用にあたって

- 全面改訂版は、問題用紙を回収しません。調査の公平性を保つため、1学期実施版の問題用紙は6月末、3学期実施版の問題用紙は3月10日まで児童・生徒に返却せず、校内での使用・保管をお願い致します。
- 小学校1年生の3学期実施版および2年生の1学期実施版は、採点済みの問題用紙は返却致しません。

お願い

実施の直前に過去の問題及び事後復習教材で事前練習を行うと、児童生徒の学力を正しく測定することが困難となります。児童生徒の学力を正しく測るため、「事前練習」はお控えください。また弊社学力調査の問題をコピーして児童生徒に実施させるなど、調査問題を2次利用することは著作権の侵害にあたります。

お申込みから結果資料お届けまでの流れ

① ご注文

- 調査実施日の2週間前までに、お申し込みください。

② 問題用紙・実施の手引きなどの送付

- 調査問題・部材の納品には、ご注文をいただいてから通常5～8営業日ほどお時間をいただきます。
- 自治体単位でのご注文は、納品まで2週間ほどお時間をいただきますので、早めのご注文をお願いします。

③ 調査の実施

- 部材納品時に同梱した「実施の手引き」をご確認のうえ、各種調査を実施してください。

④ 解答用紙の返送

- 「実施の手引き」をご確認のうえ、返送してください。

⑤ 結果資料の送付

- 1学期実施版が6月初旬以降順次、3学期実施版が1月中旬以降順次となります。
- 段階評価方式の結果資料の発送時期は、目標単拠評価方式と異なります。下記のDX営業部へお問い合わせください。
- 各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
- 学校のご都合で、個人用または学校用データを再発行する場合は、別途有料となります。

※詳細につきましては、ご注文の際、担当者にご相談ください。

 東京書籍 営業総轄本部 (DX営業部) 支社・出張所	〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1	TEL:03-5390-7577	FAX:03-5390-7582
	札幌 011-562-5721	仙台 022-297-2666	東京 03-5390-7467
	金沢 076-222-7581	名古屋 052-950-2260	大阪 06-6397-1350
	広島 082-568-2577	福岡 092-771-1536	鹿児島 099-213-1770
	沖縄 098-834-8084		

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>



商品についてのお問い合わせは、営業総轄本部 DX営業部 全国の支社・出張所までお願いいたします。	DX商品サポートダイヤル 受付時間:平日9:30～17:30	 0120-29-3363	E-mail:soft@tokyo-shoseki.co.jp
--	-----------------------------------	---	--



●出荷・納品についてのお問い合わせ
(株)学習調査エデュフロント 「標準学力調査」係
Tel.03-5390-7572



●代理店

■企画・制作・発行 東京書籍株式会社 ■コンピュータ処理・運用 (株)学習調査エデュフロント

※解答(回答)用紙に記入された個人情報、利用目的以外には使用しません。利用目的詳細は、ホームページに掲載のデータ活用ガイドラインをご参照ください。
本カタログは、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。